



〔海の状況 (6/16~7/15)〕

- ・小川地先の表面水温… 6月は神子平年並み(平年差±0.5℃)からはなはだ高め(平年差1.5℃~)で推移したが、7月以降は概ね平年並み(平年差±0.5℃)からかなり高め(平年差1.0℃~1.5℃)で推移した。(図1)
※神子平年は、1998年~2017年の神子地先の平均値
- ・米ノ地先の表面水温… 期間を通じて平年並み(平年差±0.5℃)からやや高め(平年差0.5℃~1.0℃)で推移した。(図2)

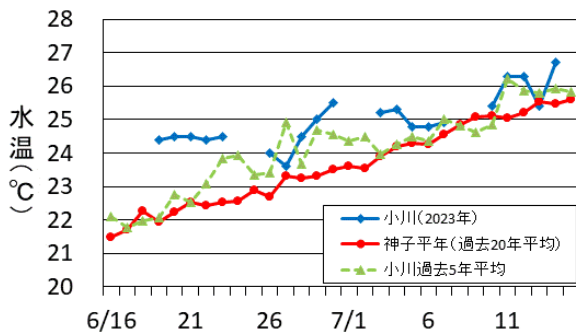


図1 若狭町小川地先における表面水温の推移

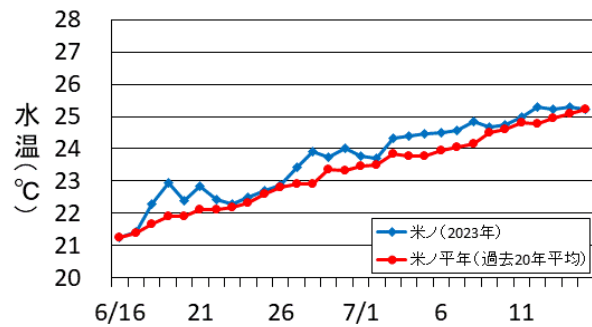


図2 越前町米ノ地先における表面水温の推移

※小川過去5年平均は2018年~2022年の小川地先の平均値である。

〔若狭湾および周辺海域の海況：6月〕

6月の若狭湾およびその周辺海域の水温分布は、昨年同時期に比べ、表層(水深0m)では、若狭湾沿岸で20℃~22℃の範囲が大きくなっていた。水深50mでは、若狭湾沖で16℃~18℃の範囲が大きくなっていた。水深100mでは、若狭湾沖で10℃~14℃の冷水域が張り出していた。水深200mでは、若狭湾沖で6℃以下の範囲が大きくなっていた。(図3)

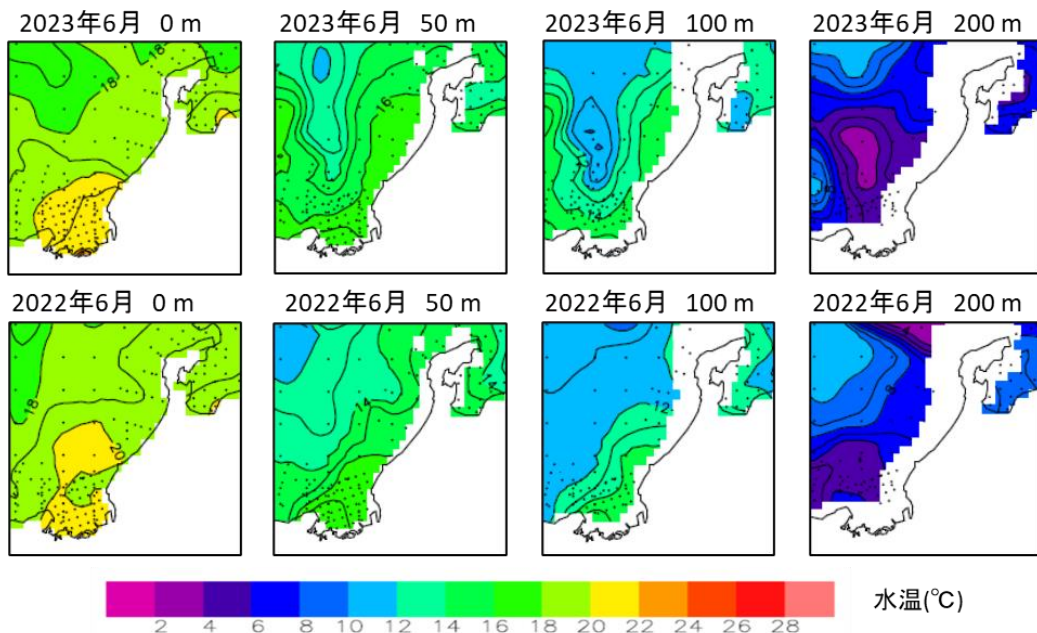


図3 若狭湾およびその周辺海域の水温分布図 (水産研究・教育機構の日本海漁場海況速報より抜粋)

(漁場環境グループ 岩崎 俊祐)

大型クラゲ情報

6月29日に長崎県の定置網で今年初の確認があり、7月17までに合計4個体の入網が確認されています。尚、長崎県の定置網で昨年同時期までの合計入網数は約70個体です。

福井県での確認情報は今のところありませんが、引き続き大型クラゲの動向に注視していきます。

(漁場環境グループ 岩崎 俊祐)

〔県内の漁模様：6月〕

2023年6月の県内の総漁獲量は1,042 tで、前年同月を119 t下回った。

〔定置網〕

漁獲量は877 tで、前年同月並みであった。ブリ銘柄計は大きく上回り、スズキとシイラも上回ったが、サバ類とアジ類は下回った。

〔底びき網〕

漁獲量は56 tで、前年同月を19 t上回った。アカガレイが前年よりも上回った。

〔釣り・その他〕

漁獲量は109 tで、前年同月を119 t下回った。スルメイカが大きく下回った。

表. 主要魚種の漁法別漁獲量(6月)

定置網	(kg)				
魚種名	2023年	2022年	平年	前年差	平年差
イワシ類計	7,501	7,058	9,204	443	-1,703
(マイワシ)	90	0	1,573	90	-1,483
(ウルメイワシ)	350	125	338	225	12
(カタクチイワシ)	7,061	6,933	7,292	128	-231
アジ類計	88,571	112,895	137,050	-24,324	-48,479
(アジ)	73,928	93,651	90,882	-19,723	-16,954
(小アジ)	8,999	13,516	42,901	-4,517	-33,902
(アオアジ)	5,643	5,727	3,267	-84	2,376
サバ類計	42,768	262,344	73,197	-219,575	-30,428
(サバ)	39,292	248,554	50,820	-209,263	-11,528
(ピンサバ)	3,477	13,790	22,377	-10,313	-18,900
マグロ類	2,610	5,981	3,475	-3,371	-865
カジキ類	764	1,085	936	-321	-172
カツオ類	1,919	707	2,787	1,212	-868
ブリ類計	535,382	272,580	303,003	262,802	232,379
(ブリ)	485,778	121,457	114,318	364,320	371,460
(ワラサ)	6,945	89,074	25,778	-82,128	-18,833
(ハマチ)	979	31,371	28,855	-30,391	-27,876
(ツバス)	41,670	30,606	133,943	11,063	-92,273
(アオコ)	10	73	109	-63	-99
シイラ	6,527	2,293	6,462	4,234	64
サワラ	60,580	79,349	171,328	-18,769	-110,748
トビウオ	80,746	108,248	134,515	-27,502	-53,770
タイ類計	9,612	9,103	9,208	509	404
(マダイ)	5,376	4,669	6,493	708	-1,117
(その他タイ)	4,231	3,363	2,326	869	1,906
クロダイ	1,427	970	1,326	457	101
スズキ	9,358	3,660	9,681	5,698	-323
カマス	1,385	1,172	4,398	213	-3,013
フグ類	2,188	3,424	4,628	-1,236	-2,440
スルメイカ	169	890	8,236	-721	-8,066
その他イカ計	17,381	15,189	24,507	2,191	-7,126
(アオリイカ)	912	1,077	1,083	-165	-171
(ケンサキイカ)	14,529	13,388	19,261	1,140	-4,732
(コウイカ)	193	138	278	54	-85
(ソデイカ)	27	26	50	2	-23
(その他イカ)	1,720	560	3,835	1,160	-2,115
タコ類	1,031	810	883	221	148
その他	7,363	9,656	15,547	-2,294	-8,185
合 計	877,281	897,415	920,371	-20,135	-43,091

底びき網	(kg)				
魚種名	2023年	2022年	平年	前年差	平年差
カレイ類計	3,430	100	5,829	3,330	-2,399
(アカガレイ)	3,287	100	4,943	3,187	-1,656
(その他カレイ)	143	0	886	143	-743
ハタハタ	50	5	233	45	-184
タコ類	309	110	344	199	-35
アカエビ	46,582	33,040	37,969	13,542	8,613
その他エビ	5,165	3,041	2,925	2,124	2,240
その他	497	80	5,189	417	-4,693
合 計	56,033	36,376	52,490	19,657	3,543

釣り、延縄、さし網、その他の漁法	(kg)				
魚種名	2023年	2022年	平年	前年差	平年差
ブリ類計	1,296	157	1,159	1,139	136
(ブリ)	955	16	433	940	523
(ワラサ)	299	107	427	191	-129
ヒラマサ	364	50	126	314	238
タイ類計	9,157	10,395	8,944	-1,238	213
(マダイ)	629	643	1,782	-15	-1,153
(キダイ)	8,176	9,558	6,925	-1,382	1,250
(その他タイ)	352	193	231	159	121
アマダイ	4,086	2,497	3,368	1,589	718
スズキ	950	754	2,810	196	-1,860
ヒラメ	184	154	812	29	-629
フグ類	293	171	108	122	184
アナゴ	271	330	2,446	-59	-2,175
メバル類	1,189	2,403	2,982	-1,214	-1,793
スルメイカ	30,364	159,443	147,437	-129,079	-117,073
その他イカ計	2,534	1,680	3,244	855	-710
(アオリイカ)	349	144	298	205	51
(ケンサキイカ)	1,356	774	2,069	582	-713
(その他イカ)	675	673	503	2	172
タコ類	32,340	20,762	32,636	11,578	-296
その他	26,265	29,979	52,991	-3,714	-26,726
合 計	109,292	228,776	259,063	-119,483	-149,771

全漁法	(kg)				
魚種名	2023年	2022年	平年	前年差	平年差
合 計	1,042,606	1,162,567	1,231,924	-119,961	-189,318

※1 平年の値は2012-2021年の10年平均です。 ※2 ()は銘柄、その他エビはアカエビ以外のエビ類です。
 ※3 サザエ、アワビの平年値は2014-2021年の8年平均です ※4 数値は小数点以下を四捨五入しています。

〔近隣府県の漁模様〕

(漁獲状況…石川県：6月の定置網1日あたりの漁獲量。京都府：6月にJF京都漁連舞鶴地方卸売市場へ水揚げされた定置網1日あたりの漁獲量。兵庫県：6月の余部定置網1日あたりの漁獲量。鳥取県：6月中旬～7月上旬のまき網1統あたりの漁獲量。)

石川県…定置網…ブリ10.3t、マアジ8.4t、サバ4.6t、ガンド3.1t

京都府…定置網…マアジ2.9t、サワラ類2.4t、ブリ2.1t、トビウオ1.5t、サバ類1.2t、カタクチイワシ1.0t

兵庫県…定置網…アジ266kg、スズキ131kg、シロイカ91kg、トビウオ69kg、ハマチ13kg、ツバス13kg

鳥取県…まき網…マサバ23.4t、マイワシ15.8t、ウルメ10.3t、ブリ類1.1t

2023年スルメイカ長期漁況予報

福井県スルメイカの漁模様 今年の6月のイカ釣り漁法による漁獲量は30 tと前年(159 t, 対前年比18%)および平年(2013-2022年の10年平均)(147 t, 対平年比20%)を下回った。

日本海スルメイカの今後の見通し 本海域では10月以降に沖合から南下する群が漁獲の主対象となる。ただし、近年は10月～12月の南下群の来遊が少なく、漁場が形成されにくい。本年5月以降の漁獲量は前年および近年平均を下回った。また、10月以降の来遊量の目安となる本年のいか釣り調査における全調査点の平均CPUEも前年および近年平均を下回った。以上のことから、本予報期間の来遊量は前年および近年平均を下回ると予測される。

○ 2023年度スルメイカ漁場一斉調査結果

日本海側の各試験研究機関によるスルメイカ漁場一斉調査が、7月上旬に行われましたので、その結果についてお知らせします。

(1) 福井県の調査結果(表1)

福井県沖合の4定点(図1)において、釣機6台を用いて每晚20時～4時の8時間釣獲試験を行いました。

●釣獲結果…総釣獲尾数は、30尾(2022年:5尾)、CPUE(釣り機1台1時間あたりの釣獲尾数)は0～0.65尾、平均0.24尾でした。

●体長組成…釣獲されたイカの外套背長(胴の長さ)は9cm～22cmでした。

●漁場水温…釣獲海域の表面水温は22.5～23.6℃(2022年:20.6～24.8℃)、50m深水温は13.1～17.4℃(同:11.5～16.5℃)でした。

表1 調査点およびスルメイカ釣獲調査結果

月日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日
調査定点	14	10	5	1
調査開始位置	N37° 02'	N37° 46'	N37° 19'	N35° 59'
	E135° 43'	E135° 40'	E134° 59'	E134° 58'
釣獲匹数	11	0	17	2
CPUE	0.33	0	0.65	0.05
平均外套背長(cm)	19.9	-	20.8	15.6
表面水温(°C)	22.9	22.5	22.8	23.6
50m深水温(°C)	15.76	15.6	13.05	17.35
標識放流匹数(匹)	0	0	0	0

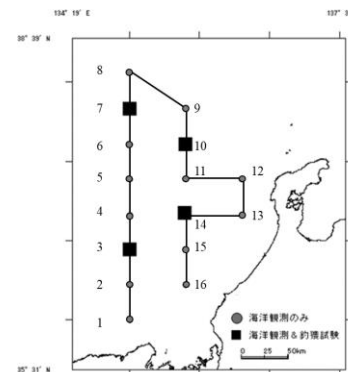


図1 スルメイカ釣獲調査点

※ 2023年調査は天候の関係で、St. 5とSt. 1で実施

(2) 日本海全体の状況(図2)

水産研究・教育機構の取りまとめによると、全調査点におけるCPUEの平均は0.49尾で、前年(2.05尾)および近年平均(7.87尾)を大きく下回り過去最低値を更新した。

道北～道央海域の調査CPUEは最大で3.4尾、次いで1.2尾となった以外はいずれの調査点においても0.5尾を下回り過去最低水準であった。漁獲の主体は外套背長16cm台以下の比較的小型の個体であった。

本州北部日本海では、調査CPUEは最大で4.6尾、それ以外の調査点においてはいずれも0.2尾未満であり過去最低水準であった。漁獲の主体は外套背長17cm～20cm台の個体であった。

西部日本海では、調査CPUEは最大で4.1尾、それ以外の調査点においてはいずれも0.7尾未満であり過去最低水準であった。漁獲の主体は外套背長21cm台以上の個体であり、外套背長18cm台以下の個体はほとんど漁獲されなかった。

沖合域では、調査CPUEは海域内のいずれの調査点においても2尾を下回り、過去最低水準であった。

今回の調査では、各試験研究機関でスルメイカの標識放流を実施しています。標識の付いたスルメイカを再捕されましたら水産試験場までご連絡をお願いいたします。
(漁場環境グループ 梶原 大都)

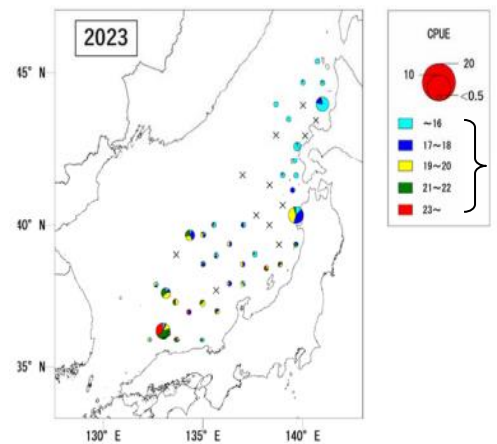


図2 日本海におけるスルメイカ分布